

トキの野生復帰に向けて



▲[餌場作り作業]
▼かつての生息地である小佐渡東部地域では、ボランティア等による餌場作りが行われている。



▲[トキとの共生について考える会合]
集落会合でトキのためのビオトープや環境保全型の水田への移行場所を検討



▲[第3回放鳥]
野生復帰ステーションの順化ケージ放鳥口を開放し、13羽をソフトリリースにより放鳥(写真提供:環境省)

環境省はトキ野生復帰環境再生ビジョンで、トキの野生復帰の目標をとりまとめました。

**【目標】 2015年(平成27年)頃に
小佐渡東部に60羽のトキを定着させる。**

この目標実現のために環境省をはじめ様々な主体が連携を取りながら、次の項目を柱に野生復帰の取り組みを進めています。

- ①トキの個体数の確保のための人工増殖及び自然環境下での生息に向けた順化訓練を進めること。
 - ・佐渡トキ保護センターは、保護増殖を積極的に行い、トキの個体数の増加に努めています。
 - ・平成18年度末に完成した順化施設(野生復帰ステーション)において、順化訓練を実施しています。
- ②トキが生息出来る環境づくりのために、少なくとも60羽のトキが定着できる自然環境づくり、及び社会環境づくりを進めること。
 - ・自然環境づくりは、農地における棚田の復元、草地の整備、休耕田のビオトープ化、更に耕作田、用排水路の改良などがあります。
 - ・社会環境づくりはNPOやボランティア団体が地域社会と共に行う、共生と循環の地域社会づくりの活動があります。
 - ・これらの活動が相互に連携するための組織支援が重要です。

なお、環境省では、小佐渡東部においてトキが自然状態で安定的に生息していけるよう、平成19年に既存の小佐渡東部鳥獣保護区の区域を約17倍に拡大しました。